

日本医科大学の画像研究に参加されたことがある皆様へ

量子科学技術研究開発機構では、2009年3月～12月に日本医科大学薬理学分野が実施した研究に参加された方のMRI脳画像データの解析研究を行います。近年、MRI装置で調べられる脳活動の同期パターンを、精神疾患のバイオマーカー（疾患の有無を示す指標）として活用することについての可能性が期待されています。しかし、その有効性を確認するためには、疾患の有無とは別に、患者さんが服用されるお薬が脳活動に及ぼす影響も正確に理解する必要があります。そこで、過去に取得させていただいたデータを解析し、脳活動に対するお薬の効果を定量的に検討するための研究を実施いたします。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] 向精神薬がヒト脳活動状態に及ぼす影響を定量的に評価するための脳機能画像研究

[実施期間] 許可日～2021年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学領域 量子生命情報科学グループ

[研究責任者] 八幡 憲明

[協力/共同研究機関]（機関間で個人情報は共有されません）

- 日本医科大学 研究責任者 鈴木 秀典
- 国際電気通信基礎技術研究所 研究責任者 川人 光男

[研究の目的] MRI脳画像データから計測される指標と向精神薬服用との関係の精査を目的とします。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2009年3月1日～2009年12月31日に日本医科大学薬理学教室のMRI脳画像研究に参加された方

●利用する情報及び利用方法

MRI脳画像データ、参加者の基本情報（年齢・性別等）、質問紙にご記入頂いた内容（収集された試料・情報を用いて、MRIデータを解析し、服薬が及ぼす脳活動状態の変化に関する検討を行います。）

[個人情報の取り扱い]

上記の試料・情報は全て匿名化された状態で日本医科大学から提供を受け、量子科学技術研究開発機構が運用するセキュリティ管理されたサーバーにて管理されます。研究従事者以外は当該サーバーへアクセスできません。研究成果は、誰の情報であるかがわからない状態で発表します。個人名などが表に出ることは絶対にありません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学領域

量子生命情報科学 八幡 憲明 電話：043-206-4067（平日10:00～17:00）

